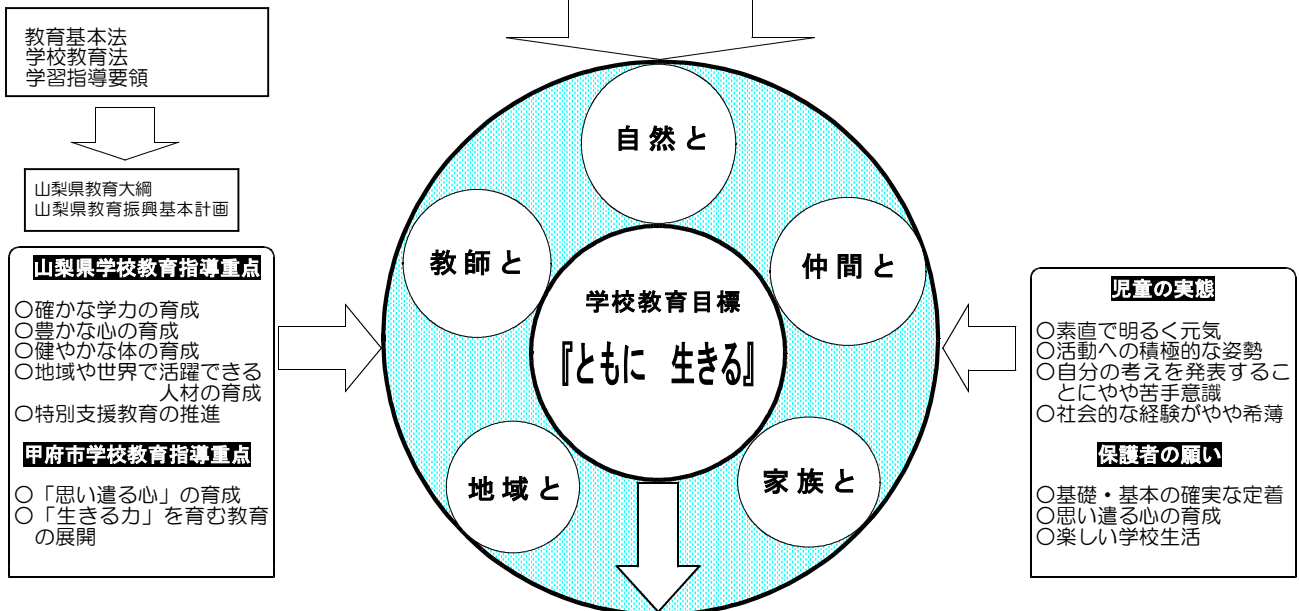


教育の基本理念

自然や人とのかかわりを通して生きる力を育てる



めざす学校像	児童育成指針	めざす子ども像
<ul style="list-style-type: none"> ○子どもと教師との学び合いにより基礎・基本の確実な定着が図られる楽しい学校 ○子ども一人一人のよさを伸ばし、お互いに支え合いながら生きる力を育む学校 ○家庭や地域とともに育つ開かれた信頼される学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○学びあう子ども ○心豊かな子ども ○健やかな子ども 	<p><知>・よく考え、自ら進んで学ぶ子ども ・人の話をよく聞き、伝え合える子ども</p> <p><徳>・元気にあいさつができる子ども ・思い遣ることができる子ども</p> <p><体>・進んで遊んだり運動したりする子ども ・健康や安全に気をつける子ども</p>

学校経営の基本方針

■経営の基本方針■	■本年度の重点目標■
<ul style="list-style-type: none"> ○山梨県学校教育指導重点、甲府市学校教育指導重点、学校教育目標の具現化に努める。 ○児童一人一人のよさを伸ばし、お互いに支え合い、学び合いながら生きる力を育む学校づくりに努める。 ○児童にとっても、教職員にとっても楽しい学校の創造に努める。 ○学校環境の整備、並びに言語環境の整備により、品位ある学校づくりに努める。 ○教職員間の和を基調に、それぞれの持てる知識、技能、能力を集結し、お互いに支え合いながら職務の遂行に努める。 ○校内研究の充実と共に、教職員一人一人が資質向上、専門性を高めるための研修に努める。 ○家庭、地域、関係機関等との連携を強化し、信頼される学校づくりに努める。長所を知り、長所を磨き、自校の強みとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年度コミュニティスクール実施に向けた準備を推進する。 ●コロナ禍における朝日小教育の再生とこれからの時代に合った教育課程の模索を図っていく。 ●コロナ禍の「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に努める。 ●ICT機器を取り入れ、授業に生かすように努める。 ●確かな学力を身につけさせるため、学習習慣の確立、家庭学習の定着、基礎基本の確実な定着に努める。 ●保幼小及び小中連携の推進に努める。 ●人権・道徳教育の推進および、いじめ・不登校への対応を進める。 ●望ましい生活習慣の定着と健康安全教育の実践力の育成に努める。 ●家庭・地域を中心とした教育の推進（コミュニティスクールとの関連）とともに、外国語教育・キャリア教育の取組も着実に進める。 ●関係機関と連携し、特別な支援を要する児童への対応を全校体制で図る。

教科	外国語教育
<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びの授業の創造 ○ICTを活用した授業の推進 ○学習習慣の確立（朝日学びのルール） ○家庭学習の習慣化・定着 ○基礎的・基本的な学力の定着（個に応じた指導） 	<ul style="list-style-type: none"> ○「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やりとり〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」の技能5領域の言語活動の着実な実施、コミュニケーション能力の育成 ○CAN-DOリスト形式による評価の計画的活用

特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間
<ul style="list-style-type: none"> ○「道徳」の時間を要し全教育活動通し一貫性のある道徳教育を推進 ○考え、議論する道徳科授業の展開 ○道徳的諸価値の理解及び自己の生き方についての考え、道徳性の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な活動を通しての心身の調和のとれた発達の育成 ○諸活動に対して自主的・実践的に取り組む態度の育成 ○縦割り班活動による異学年交流 	<ul style="list-style-type: none"> ○総合的な学習の時間の目標を明確化、探求活動の積極的な推進 ○自己課題設定のための手段・方法の工夫 ○各教科との横断的学習の推進 ○自然、地域人材や施設等の有効な活用

健康・安全教育	生徒指導	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> ○遊びや運動の日常化（外遊びの奨励） ○「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化 ○感染症への正しい理解に基づき、適切な行動がとれる指導の継続 ○「自分の命は自分で守る」 ○危機管理のポイントの共有 「子どもの命を守る」「学校の日常を守る」「学校の信頼を守る」 	<ul style="list-style-type: none"> ○指導と支援の両面から子ども理解に努める。生徒指導会議／特別支援会議 ○いじめや不登校など早期発見・早期対応 ○一人一人のよさを認めあい、ともに支え合うことができる集団づくり（QUの活用） ○場に応じた挨拶のできる子どもの育成 ○スクールカウンセラー等外部機関との連携 ○情報モラルの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だより・学年だより等による情報発信 ○地域の行事へ積極的に参加 ○学年の学習活動に地域の各種団体の参加・協力 ○児童の安全確保の取り組み（PTA「けやきバトロール」、地域「子ども見守り隊」） ○学校評議員や地域の各種団体との連携 ○家庭との連携「家庭学習習慣の定着」「親子読書」

特色ある学校づくり

- ◆「地域」を生かした大切にした学び
地域・・・「地域ぐるみボランティア活動」との連携、積極的な活用、経験値の蓄積と伝承
- ◆「自然」を生かした大切にした学び
自然・・・校庭にある木々、相川の自然、地域素材の積極的活用
- ◆「人」の関わりを大切にした学び
人・・・小回りのさく少人数を生かした異学年交流 「キッズフェスタ」「運動会」「町別活動」「児童会活動」